

背景 植物種子からDNA抽出する際、有機溶媒や酵素を用いた処理、遠心分離装置を使った操作など、煩雑で時間のかかる工程が用いられてきた。

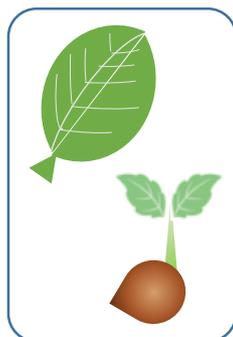
カネダの技術

簡易DNA抽出キット version2(抽出キット)と高速増幅用 DNA Polymerase (増幅キット)を組合わせる事で、遺伝子検査時間を短縮可能！

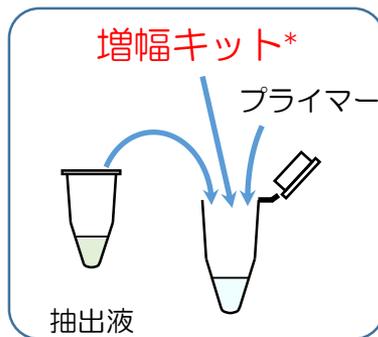
検体採取

抽出DNAをPCRへ

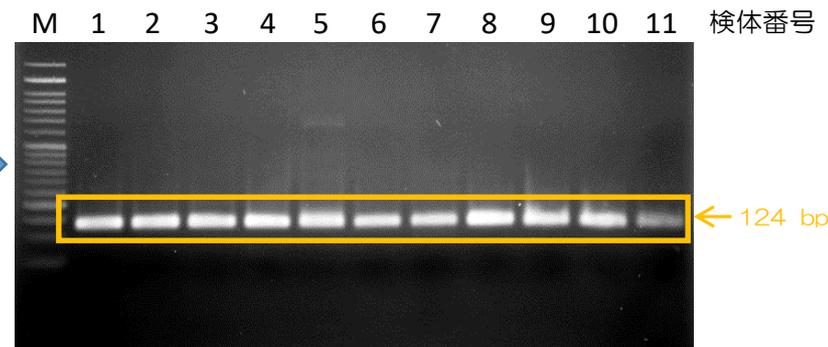
電気泳動
(当社取得データ)



抽出キット*
約8分



PCR
約40分



〈操作手順〉

- 5~8 mm角に切断した検体をPCRチューブへ加え、抽出キット*の試薬Aを100 μ l添加し、ピペティングによりよく攪拌する。
※適切なサイズは試料の種類や状態によって異なります。
- 溶液中の検体をホモジナイズ(ピペットチップの先端で突くなど)する。
- ヒートブロック等にて98 $^{\circ}$ C、10分間インキュベートする。
- 溶液が冷めた後、抽出キット*の試薬Bを14 μ l添加しよく攪拌する。
- 使用前によく攪拌し、1~5 μ lを鋳型DNAとして増幅キット*を用いてPCRに供する。

- M. 50 bp DNAラダー
マーカー
1. コショウ種子
 2. ナス種子
 3. カボチャ種子
 4. コメ種子
 5. キュウリ種子
 6. タマネギ種子
 7. ニンジン種子
 8. キャベツ種子
 9. メロン種子
 10. スイカ種子
 11. ニンジン根

*抽出キットおよび増幅キットは研究用途としてのみ使用して下さい。尚、ヒト、動物への医療、臨床診断等に使用しないでください。